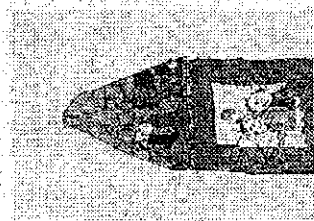


知的障害
のある人を
理解するために



授)と「全日本手をつなぐ書成会」が、知的障害を理解するハンドブックを作り、全国の警察本部などに配布。障害を持つ人のために地域生活のサポートネット(安全護衛)作りを目指している。

【遠藤哲也】

犯罪被害が多く...

知的障害者の理解を

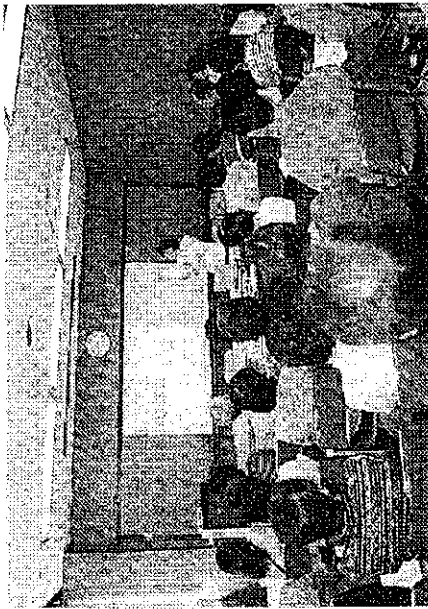
家族ら 警察に呼びかけ

知的障害のある人が強姦や詐欺など犯罪被害に遭うケースが多いことから、警察官に知的障害について正しく理解してもらおうと、障害者の家族や福祉研究者らの取り組みが始まっている。厚生労働省の研究会(主任研究者・堀江まゆみ白梅学園大教

「自閉症の息子が、見知らぬ男に殴られた。警察官からは『そんな大それた男に殴られる事なら、0.1%と離れずいたらい』と言われた。」「住所を言えない小学生の息子が行方不明になった。2時間後、三つ先の駅付近で見つかったが、迅速に警察に対応してほしかった。」「開いたドアスクリューがとも気になる息子が自販機の前立っていた男性のセカンドバッグが開いていたため、閉めようとして110番された。駆け付けた警察官からは、ひとりに問題なれ、障害のことを話しても『親だからな

「自閉症の息子が、見知らぬ男に殴られた。警察官からは『そんな大それた男に殴られる事なら、0.1%と離れずいたらい』と言われた。」「住所を言えない小学生の息子が行方不明になった。2時間後、三つ先の駅付近で見つかったが、迅速に警察に対応してほしかった。」「開いたドアスクリューがとも気になる息子が自販機の前立っていた男性のセカンドバッグが開いていたため、閉めようとして110番された。駆け付けた警察官からは、ひとりに問題なれ、障害のことを話しても『親だからな

救済へ、冊子配布



警察とのかかわりについて活発な意見が出された勉強会
—大阪府高槻市で、4月24日

大阪府では今年2月にも府警本部の警察官2人が参加した勉強会を開催。ハンドブックは、府警刑事部のほか、全64署の生活安全課や交番・駐在所に計900冊が配られた。パトカーにコピーを準備し活用している署もある。

府警総務部の中村純造調査官は「ハンドブックは『非常に読みやすく、参考になった』という現場の声がある。知的障害者には、保護者を呼んで被害聴取をするなど適切な対応をしたい」と話す。

大阪の中心エリアの辻川圭弁護士(大阪弁護士会)は「地域安全のキーパーソンは警察だけなく、消防士や駅員もいる。今後、そうした人をつないで安全サポートを築きたい」と話している。

Q&Aで解説
警察官向けハンドブック「卓上」はA5判、20ページ。約100万人と言われる知的障害者の犯罪被害の特徴などを解説。「知的障害のある人とはどんな人?」など基本的事項と、「なぜ被害を訴えられないのか」をQ&A形式で書いている。各地の育成会支部や日本自閉症協会支部の連絡先も掲載。100円。一版向け冊子(A5判、32ページ、200円)もある。申し込み・問い合わせは大阪府知的障害者支援会(06-6777-4300)またはアスク(0771-4302)。

「メー」
現の自由を脅かす危険性の高い「メディア規制法案」、戦争準備につながる「有事法制関連3法案」が、精神的な被害者にも影響を及ぼす。表

ひろば



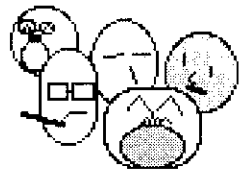
遠藤 哲也
れた米国の障害者差別禁止法(ADA)は、以後49カ国以上で同様の法律が作られたのに、日本にはまだありません。

格
米
当
定
さ

OYAJI!

済美養護学校 おやじの会
杉並区知的障害者育成会
障害者の住みよい杉並をつくる会

4/13 (土)



《知的障害者のセイフティネット構築》でいかにして障害者の人権を守るか？

『警察プロジェクト』杉並近隣地区研修ついに開催！

セイフティネット協力員の皆様
保護者、福祉関係者、教職員、警察官の皆様

4月13日、厚生科学研究『地域社会における障害のある人のためのセイフティネット構築』（通称：警察プロジェクト）の杉並近隣地区研修会が開催されます。
これは、障害のある人が地域社会で安心して暮らすための“セイフティネット”を、家族や支援者が警察とともに構築しようという取り組みで、東京・大阪・札幌をモデル地区として、いま全国各地で始まろうとしています。

残念なことに障害者をめぐる忌まわしい事件がまだまだ多数発生していますが、彼等を犯罪の被害者・加害者にしないため、人権を守るために、まず地域の警察官に知的障害者の良き理解者になっていただくというのが“警察プロジェクト”の狙いです。

本プロジェクトで制作された警察向け冊子「知的障害のある人を理解するために」は、警察庁のご理解により全国47警察本部、1500警察署、6500交番、9000駐在所のすべてに合計3万部が配布済み。一般向けの冊子も3月末に発刊予定です。
このほか、各地で警察本部に出向いたり、警察学校のカリキュラムに入れてもらったりと、地道ながら感動的で頼もしい活動が全国で展開されています。また、さまざまな新聞やNHK（おはよう日本）でも取り上げられました。
今回の研修は、プロジェクトの代表である主任研究員・堀江まゆみ先生と、毎日新聞・野沢和弘氏の解説による当地域でのキックオフ勉強会です。お誘い合わせのうえご参加ください。

【日時】4月13日（土曜日）、午後2時～5時

【場所】阿佐ヶ谷区民地域センター（JR阿佐ヶ谷駅南口3分／杉並区阿佐ヶ谷南1-47-17）

【講師】堀江まゆみ氏（白梅短期大学教授）

野沢和弘氏（全日本手をつなぐ育成会・権利擁護委員長）

【内容】警察プロジェクトとは？ 各地の取り組み
障害者の人権を守るために、具体的ノウハウ

【費用】無料

研修資料として冊子（警察向け／一般向け）を当日販売します。500円程度。

すでにお持ちの方はご持参下されば結構です

参加申込方法

「警察プロジェクト研修参加」として
氏名・所属・立場・住所・TEL/FAX/E Mail
を明記のうえ下記をお願いいたします。

● E Mail se-zo@nifty.com

● FAX: 03-3536-9382 (直通)

● 郵送: 〒167-0082 杉並区天沼2-44-21 副宛

複数参加の場合も、それぞれお書き下さい。
宜しく願いいたします。

当日の一時保育はありませんのでご了承下さい。
また、お車でのご来場はご遠慮下さい。

